

令和7年度

上向台小学校

地域とともにある学校づくり

1年生

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習

単元名： きせつとなかよし あき 「～あきのたからもので みんなであそぼう～」
(活動名)

ねらい： 秋の自然を諸感覚を使って観察したり、自然物を使って遊んだりする活動を通して、秋の特徴や他の季節との違いを見付けることやそれらを使って遊ぶ方法を考えたり、遊びを楽しく工夫したりすることができ、自然や生活の様子の変化、自然の面白さや不思議さ、野原や公園のルールやマナーを守って遊ぶことなどについて気づき、季節を取り入れて遊びや生活を楽しく創り出すことができるようにする。



【10月28日】

小金井公園の樹木の会の皆さんに「秋探しツアー」に連れて行っていただきました。樹木の会の皆さんからおもしろい木の実や葉を紹介してもらったり、どんぐりを拾えるお勧めスポットを紹介してもらったりして、小金井公園の「秋」を五感で味わうことができました。

集めた木の実や葉は、自分の宝箱に入れ、学校に帰ってからも楽しそうに観察したり、遊んだりしていました。

【10月下旬～11月中旬】

自分の宝箱の中にある「お宝」を使って、おもちゃづくりをしました。どんぐりや葉っぱの特徴を生かして、転がしたり回したり、楽器や飾りを作ったり、一人一人が創意工夫を凝らして活動しました。作ったおもちゃで、近隣の幼稚園・保育園の園児さんや他のクラスの友達や保護者の方も招き、おもちゃ屋さん遊びも行いました。お客さんが楽しむ様子を見て、1年生も充実した表情をしていました。



まとめコラム

今年度は、小金井公園の「樹木の会」の皆様との出会いをきっかけとして学習を進めました。遠足や生活科の虫探しで何度も行ったことのある小金井公園。その公園に、まだまだ知らないことがあることに気付いたり、そこで見つけたものを使って自分たちでおもちゃ作りをしたりすることを通して、地域の良さに気づき、その良さを生かしていける子どもたちに育ってくれることを願っています。来年度からも、自分たちの地域にある良さを見付けたり、新しい発見を楽しんだりすることのできる児童の育成を図っていきます。